

発見! 全国のほっとポイント

多くのクリニックと連携し “街”で患者を支える医療を

東京都
町田市



PROFILE

佐藤寿一クリニック院長

佐藤寿一先生

さとう・じゅいち 1983年筑波大学医学専門学群卒業、87年同大学医学研究科博士課程修了。同大学附属病院内科、ミシガン大学医学部内科、坂戸中央病院内科医長、名越クリニック院長などを経て、2006年佐藤寿一クリニックを開院。日本内科学会認定総合内科専門医、日本糖尿病学会会員、日本消化器病学会認定専門医など。

診療の幅を広げることで 他院との架け橋にも

都心からもアクセスがよく、商業施設が立ち並ぶ東京都町田駅の近くで、糖尿病内科、消化器内科をはじめ呼吸器内科、循環器内科など多くの診療科目がある佐藤寿一クリニック。働き盛りの世代や、小さなお子さんから高齢の方まで、あらゆる層の患者さんの健康を支え

ています。「町田駅周辺は特に人の流動性が高く、常に様々な年齢、症状の患者さんがいらつしゃいます。診療の幅を広くもつことで多くの患者さんに対応できるようにしています。そして必要があれば、すぐに専門の病院を紹介できる窓口のような役割も果たせればと思っています」と院長の佐藤寿一先生は話します。

「入院可能な基幹病院との連携やクリニック同士の連携を深めることで、街の医療機関全体で患者さんをサポートできる環境を整えたい」という先生の考えのもと、周辺の病院やクリニックとも定期的にコミュニケーションをとり、情報交換も進めているそう。多岐にわたる医療機関との関係づくりを大切にしていきます。

治療目標は高く設定し 中途半端には終わらせない

糖尿病をはじめ、どんな疾患に対しても「数値が正常範囲に入るのがゴールではなく、できる限りリスクを減らすためにも目標は高く設定。中途半端には終わらせない」という信念

をもつ佐藤先生。糖尿病治療では栄養指導はもちろんのこと、早めの段階で投薬治療を始めることで重症化予防も徹底しています。「健康に長生きしてほしいから、治すなら徹底的に」という強い思いが伝わってきました。

糖尿病治療で、今、特に力を入れているのが、筋トレやストレッチによる基礎筋力を上げるための指導です。新型コロナウイルス感染症予防のための外出自粛により運動不足になっていたり、高齢者で筋力が衰えていたりする場合には、家でできる10分筋トレの方法を紹介しています。「忙しい人がいきなり運動を始めても続かない場合が多い。家で10分だけ筋トレをするほうが継続率も上がり、筋肉が増えることで体重も自然と落ちます。何より成果が見えるのでモチベーションもつな갑니다」と先生。今後も患者さんの通いやすさを重視しつつ、さらに新しいことにもチャレンジしていきたいと語る意欲的な姿が印象的でした。



左：JR町田駅ターミナル口と直結していて、アクセスも抜群。右：看護師長の江口さんと。管理栄養士、検査技師、事務スタッフとのチーム医療で患者さんをサポート。